SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　天草海産

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念は「人や企業との出会い、また交流を大切にすること」で、朝礼時に経営者から社員への声賭けを行い、浸透をはかっている。従業員の担当制により役割を明確化し、個々の責任感及び技術の向上に繋がっている。また上天草市、宇城市のふるさと納税返戻品の取扱による地域貢献という使命感を胸に取組んでいる。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		顧問社労士・弁護士とも密に連携し、社会の変化に速やかに対応できる組織体制が構築できており、法令遵守はもちろん、社内体制においても就業規則の見直し等、体制・仕組みづくりに務めている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		経営理念に基づき、取引先・顧客との関係を最重要視し、健全な経営を全うとしている。魚市場や組合から日々取扱製品の相場を把握し、適正価格での販売を心がけている。また、相場の変動があった際は、朝礼にて社員へ周知している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		養殖加工責任者を任命し、手当を支給。当社の行う事業（養殖加工販売）が、水産業及び地域へ及ぼす影響を把握・理解している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		商標登録や新商品開発に力を入れ、自社商品の保護に努めるほか、また長年培った養殖技術・ノウハウの対外漏洩の防止、保護に努めている。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		顧問弁護士の指導の元、個人情報を始めとする重要情報は所定の場所で施錠し適切に保管・整理し、情報漏洩防止に努めている。 データ類に関しても取扱者を限定し、管理している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		活魚販売に関しては、より良い身質の活魚提供の為、個体の状態に合わせた水温管理、着状態の確認、積載量調整等の情報共有を市場・取引先と都度行っている。加工品販売に関しては、SNSや電話等による顧客からの当社への様々な意見（特に苦情）に対して、真摯に受けとめ改善し、再発防止に努めている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	永続的な事業の継続の為、現代表取締役から専務取締役への代表者変更、事業承継の対策に着手している。実務面・財務面の両面で円滑な引継ぎを税理士等と連携し進めている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則に差別・ハラスメントの禁止を定め、組織内でも従業員間で相互に目を行き届かせるなど管理体制を構築している。障害者の採用も行い、障がい者雇用率7%。18歳から65歳までの幅広い年齢の従業員が活躍されている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		毎年食品衛生講習会に参加し、従業員間での共有を行っている。 業務中の事故を防ぐ為に、新入社員へは2年間管理職者による指導期間を設けるなど、安心して働ける環境を整備している。社内には社会福祉士等の有資格者も在籍し、従業員が安心して安全に労働できる環境への配慮に気を配っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		就業規則の賃金規定は、以前より同一労働同一賃金の原則に基づいた内容になっており、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		有事の際の休暇取得や労働時間調整等にも柔軟に対応している。有給取得を義務化し、65歳以上の再雇用者に関しては時間内労働義務付化、有給以外で月2回の休暇を義務化している。また機械の導入により業務効率化、従業員の業務負担の軽減も図っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		新入社員へは管理職者による2年間の指導期間を設けるなど教育制度は充実している。また同業者間での外部研修にも積極的に参加し、養殖加工技術の向上に努めている。職務上必要な資格（大型運転免許・フグ処理師）の取得の際には、取得費用の全額負担、有資格者へ給与に加え、手当を支給している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		就業規則に健康診断費用補助の文言を追加している。朝礼時、従業員及びその家族の健康状態を確認し、体調不良時は自宅待機もしくは医療機関受診を促している。生産性の向上の為、昼休憩以外にも適度な休憩時間を与え、会社から飲食物の支給を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		年齢、性別、障がいに拘らず、多様な人材を雇用している。 可能な限り従業員が活躍できる環境を提供している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　天草海産

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		壊死した活魚や加工残菜は廃棄物として処理をせずに、肥料メーカーへ提供し、肥料の原料として再利用を行っており、新しい循環型の養殖を目指している。養殖用魚用の動物用医薬品は、鍵付の保管庫にて適正に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力に関しては社)九州電気管理技術者協会の計測(月1回)にて、ガソリン使用量に関しては自社計測にて使用量を把握している。施設に太陽光パネルを設置し、オフィス内の照明をLED照明にするなど電気使用削減に努めている。また、場内で使用するﾌｫｰｸﾘﾌﾄも電動仕様に移行。今後は養殖場の照明をLED照明へ交換を予定している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		施設に太陽光パネルを設置し、自社消費の他、売電も行っている。 オフィス内照明のLED化の他、従来石油燃料を使用していたﾌｫｰｸﾘﾌﾄを電動仕様に移行している。また弊社が使用するﾄﾗｯｸは燃費基準プラス10％を達成し、排出ガス抑制に努めている。 温室効果ガスの排出量は、社)九州電気管理技術者協会の計測(月1回)にて把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		熊本の豊な海資源の保全・改善の為の商品(IBA-DX)の散布を3ヶ月1回実施。散布量の測定、その効果測定も行っている。 養殖においては、自然環境にもやさしい飼料を取扱っている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		メーカーと共同開発した自然環境に優しい飼料を取扱ってる。 壊死した活魚や加工残菜は廃棄物として処理をせずに、肥料メーカーへ提供し、肥料の原料として再利用を行っており、新しい循環型の養殖を目指している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		社内で使う水は地下水を使用している。 加工場においては、蛇口式でなく、センサー付の節水器具を使用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生用紙の利用はもちろんのこと、太陽光発電設備の導入、環境に配慮した飼料の取扱、電動ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ、活魚車、IBA-DXの散布等、環境に配慮した製品の取扱や取組を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	オフィス内の照明をLED照明にしており、電気使用量削減に努めている。また、場内で使用するﾌｫｰｸﾘﾌﾄも電動仕様に移行している。 【予定】2023年5月までに養殖場の照明の30％をLED照明へ交換を行う。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	環境に優しい餌の利用で、海洋汚染の防止に努めている。 また海の日や台風後に海岸の清掃を行っている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　天草海産

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		弊社が販売するトラフグは、熊本県適性養殖業者認証を得ており、熊本県漁業協同組合連合会が策定した安全基準に基づいた製品の販売がなされている。飼料もメーカーと改良を重ね、安心と安全かつ自然環境にも配慮した飼料を使用している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		加工場共に可能な限りユニバーサルデザインを考慮し、養殖場、飼育水槽以外は全て段差がない。 また現場での実務経験のある有資格者（ヘルパー）在籍しており、施設状況に合わせた対応が可能である。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	昨年よりうなぎの陸上海水養殖・販売に着手し、養殖業の発展促進に努めている。アートロックフリーザーを導入しており、商品の品質向上と差別化を図っている。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		弊社は上天草市、宇城市のふるさと納税返戻品に認定されており、市の財政貢献に努めている。また若者の地元定着の為に、学生が卒業後上天草市居住就業した際に、その学生が在学時に受けた奨学金の返還支援を行っている。熊本県海水養殖組合、また天草漁業協同組合に所属し、養殖業の普及啓発活動に務めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		過去の天災を教訓に、災害発生時の行動マニュアル、連絡網を作成し、被害の防止・軽減に努めている。地元消防団所属の従業員がおり、消火器や動力用消防ポンプの使用方法を周知徹底している。また、場内に拡声器、防水用バケツを設置している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	個別で施設見学を受け入れている。 養殖組合員として、学校（常盤学院）、学校（天草拓心高校）で出張授業を行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	学生が卒業後上天草市に居住・就業した際に、その学生が在学時に受けた奨学金の返還支援を行っている。地元保育園より、当社施設見学を受入、また地元保育園と小中学校の給食で当社製品の提供を行い、食行く活動に務めている。天草拓心高校での出張授業を開催するとともに、養殖業の実習先として提案をしている。当校のキャリアサポーターと密に連絡を取り、今後毎年1名程度を雇用できるよう社内体制の整備に取組んでいる。今年度は同校より当社へ2名入社している。 【予定】来年度も1名採用予定。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。